

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	福祉対策措置	図書館管理運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		高島市	
交付金事業実施場所	高島市マキノ町蛭口（マキノ図書館） ほか5件		
交付金事業の概要	<p>資料提供を中心とした図書館サービスを行うことにより市民の生涯学習に資する図書館施設を運営するために必要な人件費 充当種別：図書館司書12名、図書館司書補助4名の人件費 充当期間：令和4年6月～令和5年2月（9か月分）</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第2次高島市総合計画後期基本計画 第2章 「あゆむ」子育て・教育 施策項目2 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します。 施策方針4 地域を知り地域に学ぶ機会をつくれます。 施策内容4 生涯学習のニーズに応える図書館運営 ・多様な資料の整備による学習支援や、図書を活用した生涯学習を推進するとともに、生活課題の解決や生きがいづくりに役立つ取り組みを進めます。 目標：市民1人あたりの貸し出し冊数（市調査） 現状 12.9冊（令和3年度） 目標 12.9冊（令和8年度）</p>		
事業開始年度	令和4年度	事業終了（予定）年度	令和4年度
事業期間の設定理由	—		

	成果目標	成果指標		単位	評価年度		令和4年度	
	交付金事業の成果目標及び成果実績	多様な資料の整備による学習支援	市民1人あたりの貸し出し冊数(冊/年)	成果実績	冊			9.8
目標値				冊			12.9	
達成度				%			76.0	
評価年度の設定理由								
毎年度評価を行うため								
交付金事業の定性的な成果及び評価等								
市民1人あたりの貸し出し冊数が9.8冊と成果目標を上回りませんでした。原因としてはコロナ禍における来館者の減少と今津図書館および安曇川図書館の照明LED化工事に伴う休館の影響であると分析しています。今後においても、現在の貸出冊数を維持することは勿論のこと、1人でも多くの市民に興味をもってもらえるよう、多様な資料整備を進めるなど、引き続き、市民の生涯学習に資する図書館運営に努めます。								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度		
	図書館司書等の雇用者数		活動実績	人	16	16		
			活動見込	人	16	16		
			達成度	%	100%	100%		
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度			備考			
総事業費	5,325,490	24,347,934					29,673,424	
交付金充当額	4,500,000	20,000,000						
うち文部科学省分	4,500,000	20,000,000						
うち経済産業省分	0	0						
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
図書館司書等人件費		雇用		図書館司書12名 図書館司書補助4名		24,347,934		
交付金事業の担当課室		総務部市町振興課						
交付金事業の評価課室		総務部市町振興課						